



北斗句会

令和四年十二月定例会（七日）

兼題

「直」「音」

五十音順

特は特選

石田きよし選

年ひとつ老いて聴き入る除夜の鐘

大崎石州

四つ割りの白菜ならぶ物価高

太田黒幸風

音かろく転ぶ落葉やビルの谷

大森康正

障子貼り気を取直し為遂げけり

竹内雲泉

枯枝をざつくり捌く鋸の音

田中資凡

特 退院や潜る蒲団の日の匂ひ

長池豆陽

特 コロナ世に生きて目深に冬帽子

藤田紀潮

大根を直に噛りて野趣びたり

宮下ひかる

特 真つ直ぐに家路を二人冬の暮

森田光彦



仕舞湯の妻に足したる柚子ふたつ

石田きよし